

お取引先企業様とともに安全で安心な職場づくりを目指すことを目的に、災害の未然防止に役立つ情報をお届けします。

## ◆安全教育の効果 ～継続的な取り組みで災害を防ぐ～

弊社のお取引先企業様の中には、災害防止に特に注意を要する職場もございます。とりわけ、床が滑りやすい食品製造業や、高年齢作業が多い職場では、災害が発生しやすい傾向が見受けられます。

本来、災害防止においては、災害の要因となる「不安全な状態」を解消することが最優先です。しかし、職場環境や作業内容によっては、災害リスクを完全に排除できない状況下で作業を行わざるを得ない場合もあります。そのような場合には、作業員一人ひとりが不安全な行動を避け、高い安全意識を持って作業に取り組むことが求められます。こうした意識を職場全体に定着させるためにも、継続的な安全教育が欠かせません。

実際に、災害が頻発していた職場において、弊社安全衛生課が定期的に安全勉強会を開催し、スタッフ教育を実施している事例もございます。基本的な内容を繰り返し学習することで、着実に災害抑制につながっており、安全意識の向上や災害の未然防止において、継続的な安全教育の有効性を改めて実感しております。

安全勉強会の開催にあたっては、お取引先企業様のご協力のもと、会議室や食堂などの施設をお借りすることもございます。また、就労時間中だけでなく、就労の前後、シフト制の職場においては複数回に分けて実施するなど、柔軟な対応を行っております。過去には、安全勉強会の効果を実感された結果、教育資料の提供をご要望されたケースもございました。

今後とも、安全教育の有効性をご理解いただき、災害防止に向けた継続的な安全教育へのご協力をお願いいたします。

## ◆安全・手軽・快適！ インナーヘルメット活用のすすめ

ここ最近、製造現場を巡回していると、以前は帽子だけを着用していた現場でも、帽子の下に薄手の樹脂製インナーヘルメットを装着する姿が増えてきたと感じます。現場責任者の方に伺うと、『インナーヘルメットを着けていたおかげでケガをせずに済んだ』という事例が何度かあったという声をお聞きし、ちょっとした対策で災害を減らすことができるのだと、改めて感じました。

インナーヘルメットの魅力は、安全性だけでなく、作業員にとって快適で扱いやすい点にもあります。具体的には、次のような特徴があります。

**安全面**：転倒時や構造物との激突から頭部を保護

**衛生面**：簡単に洗浄でき、常に清潔に保てる

**快適性**：軽量・薄型で長時間の着用でも疲れにくく、通気性があるため夏場でも蒸れにくい

**作業性**：既存の帽子の下に装着可能で、見た目もほとんど変わらず、職場に受け入れやすい

**コスト面**：手頃な価格で導入でき、コスト面での負担が小さい

高所作業や重機を扱う作業では、従来の安全ヘルメットの着用が必要です。しかし、これまで帽子だけを着用していた職場では、インナーヘルメットの活用を推奨したいと思います。小さな取り組みの積み重ねが、災害防止につながります。貴社の作業環境に応じた安全対策の一つとして、ご検討してみたいかがでしょうか。